

## 月間報告書 2月分

学籍番号 :                      留学先 : スイス チューリヒ大学  
 氏名 :                              留学期間 : 2019年04月01日 ~ 2020年03月31日  
 年次 : 3年次                      留学区分 : 派遣留学  
 クラス : G02

### I. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	Intensivkurs Deutsch als Fremdsprache: Materialsammlung A2.1	外国語としてのドイツ語 A2.1	2700	授業
2	Kanbun/Kundoku	ドイツ語で学ぶ漢文	210	授業
3	Basic German 4: A2	基礎ドイツ語 A2	180	授業
4	Japanische Lektüreübung 2	日本語及びドイツ語での講読練習	210	授業
5	Fachterminologie japanische Sozialwissenschaften 2: Politik und Gesellschaft	日本の社会科学	180	授業
6	Moderne japanische Gesellschaft	現代の日本社会	180	授業

### II. 授業内容

No.1  
 大学での授業が開始する前の2週間で行われた、Sprachzentrumという、UZHとETHと共同で運営されている機関による、ドイツ語集中講座です。  
 それゆえに、UZHとETHの学生と合同で行われます。  
 この授業に参加登録するには、日本にいるうちにインターネットで申請をし、クレジットカード等で100CHF支払わなければなりません。  
 また、授業開始時には教科書代として別に現金で40CHFを支払いました。  
 クラス分けテストが初日に行われ、1クラスに約25人ほどの生徒がいました。  
 授業は教科書に沿って進められ、先生が文法などを説明した後に、個人で問題を解いたり、生徒同士で会話をしたりします。アプリを使用しているチーム別のゲームなどもあり、勝利したチームにはチョコレートが与えられます。課外授業が行われる時もありました。  
 分からないところがあっても、巡回してくれている先生やアシスタントの方に質問すれば丁寧に説明してくれます。  
 教室は様々な国から来た生徒たちで構成されているので、生徒たちは当然であるかのごとく英語で会話をしますし、先生も英語で説明することが多いです。  
 英語が苦手な私としては非常に戸惑いましたが、色々な人と話す良い機会になったと思います。

No.2  
 漢文をドイツ語で学ぶ授業です。少人数授業で、日本語学科の学生さんの他にも何人かの日本人が参加しています。  
 授業は、OLATという、生徒のためにレジュメや教科書などをアップしてくれるサイトにて、先生が上げてくれていた教科書に沿って

て進められます。

まず先生が漢文の基本事項について説明し、その後生徒が個人で問題を解いたり、みんなで答え合わせをしたりといった流れです。

漢文に触れるのは久しぶりなので、なんとも懐かしい気持ちになります。

初日の授業では、教科書の冒頭部分をコピーして配っていただきましたが、それ以降は自分でコピーするか、パソコンで画面表示するかして授業を受けないといけません。

### No. 3

Sprachzentrumという、UZHとETHと共同で運営されている機関によって開講されている授業で、1授業取るのに80CHF支払わなければなりません。

教科書は先生から送られてきたデータを、自分でコピーするか、パソコンにアップロードして書き込むかして、使用します。

授業は教科書に沿って進みますが、個人での作業というのはあまりなく、ペアを組んで会話をする事の方が多いです。

また、教科書に出てくる単語の量も多いため、知らない単語をたくさん学ぶことができます。

2週間のIntensivkursと同じ先生の授業を選択したので、せんせいはもちろん、他の生徒の中にも何人か顔見知りの方がいました。

### No. 4

日本語の小説をドイツ語に訳す授業です。日本人も何人か参加していますが、日本語学科の学生さんがほとんどです。

今は「コンビニ人間」という小説を訳しており、毎週の宿題の量がとてつもないです。この小説は、先生がOLATにアップしてくれています。

日本語で書かれた小説を読んで内容が頭に入るのは、まあもちろんの事なのですが、それをドイツ語に訳すとすると、日本語だからこその独特な表現や習慣をどう変換していいものか、非常に悩みます。

1つの単語を訳すにしても様々な差異があり、たくさんの単語に触れる事ができます。

授業の流れとしては、宿題に出された箇所を順番にあてられていき、まず日本語文を読んで、そして訳を読むというかたちです。

あてられた人の訳が自分と違うと、みんな進んで手を挙げ、先生に質問します。

また、先生も非常に丁寧に教えてくださいます。

### No. 5

日本の政治や社会についてドイツ語で学びます。

現在の授業は先生が週ごとにOLATにアップしてくれている、日本の政治に関する重要単語の表と日本語で書かれた教科書に沿って進みます。

授業の前半に先生が重要単語の説明を口頭でしてくださり、後半では宿題として出されていた教科書の訳を、あてられた人が読まなければなりません。

この宿題の量と難易度はけっこう厳しいです。

専門用語が多いのに加えて、文面も難しいものになっているため、日本語学科の学生さんはグループを作って共同で行っているそうです。

分からないことを尋ねるととても優しく教えてくれます。

日本語の単語が授業に出てきますが、恥ずかしながら知らない単語の方が多いので、非常に勉強になります。

### No. 6

現代の日本の社会事情についてドイツ語で学びます。

授業は先生がOLATにあげてくれているパワーポイントに沿って進められ、先生が口頭で説明したものを自分でメモしていくという流れです。

パワーポイントの他にも、パワーポイントの内容を深く説明している、英語で書かれた教科書もアップされており、授業中に使用することはあまりありませんが、重要であるそうです。

今は日本で行われた経済政策や、そこに至るまでの過程などを学んでいます。

先生が説明してくださっていることはまだまだ理解できず、パワーポイントと聞こえてきた単語で何についての事なのか合致させるのに一生懸命ですが、知っている内容が出てくると嬉しくなります。

### III. 生活編

#### 1. 出国・入国時について

留学先大学の授業が始まる前の、二週間のドイツ語集中講座が始まる2/4の間に合わせるべく、私は2/1の早朝に伊丹→成田→チューリヒと行った、乗り継ぎ1回の経路で出発しました。

伊丹空港で、国際線用の乗り継ぎカウンターにてスーツケースを預ける際（ここでスーツケースを預けておけば、乗り継ぎの際にもう一度スーツケースを運ぶことなく、そのまま目的地に届けてもらえます）に、パスポートチェックを受け、3か月以上の滞在であるのにビザを持っていないことを尋ねられました。

日本とスイスの間では査証免除取り決めが締結されているため、90日以上滞在中でも前もって入国許可の確約書（チューリヒ大学がしてくれます）を取得しておけば、スイス入国後に滞在許可証を取得する事で長期滞在が認められることになっています。

それを説明し、チューリヒ大学から送られてきた入学許可証のコピーとビザに関する説明の書かれたコピーを提示しましたが、なかなか通してもらえませんでした。結局のところ、成田空港までの国内線は搭乗できるが、成田空港からチューリヒ空港までの国際線に搭乗するまでに、呼び出しがあるかもしれないということを説明されました。それゆえに、国際線の搭乗口ではどきどきしながら搭乗開始時刻を待っていたのですが、特に何事もなくあっさり通してもらえました。

しかし困ったのはその後のことで、私の搭乗した便の出発が約4時間も遅れてしまいました。チューリヒに昼過ぎに到着する予定がずれにずれ、夜になってしまいました。延着したからなのか、ゴディバのチョコレートの大い箱がもらえました。良かったのか、悪かったのか。

入国審査の際にパスポートを見せ、滞在期間を伝えると、3か月以上の滞在中には滞在許可証の取得が必要だからねと説明を受け、無事に通してもらうことができました。

#### 2. 空港から

空港には、日本で事前に日本語学科の担当者さん（チューリヒ大学から届く書類に連絡先が表記されていました）をお願いして紹介してもらった、日本語学科の学生さんが迎えにきてくれて、そこから寮まで送ってもらいました。飛行機の延着で長い時間待たせてしまったことを謝ったら、仕方ないよと許してくれました。空港から私の寮までは、S-Bahnで30分ほどで6.80CHFかかりました。

#### 3. 滞在許可証の取得

滞在許可証を取得するためには、住んでいる寮の地域ごとに振り分けられたKreisbüroに必要な書類（パスポート、チューリヒ大学の学生証、サイン付きの賃貸契約書、手数料等182CHF、入国許可の確約書）を持って申請に行かなければなりません。チューリヒ大学の学生証と入国許可の確約書(Confirmation and Application for Residence Permit for the Kreisbüro)はチューリヒ大学のオリエンテーションでもらえます。

賃貸契約書はそれぞれの寮によって仕様は違うと思いますが、私の場合は寮を管轄している事務所に契約に行った際にサイン付きのものがもらえました。

Kreisbüroに申請に行くと、仮の紙の許可証が渡されます。そしてその後日、生体認証（写真、指紋をとり、サインをします）に行かなければなりません。この生体認証が完了すると、寮に滞在許可証のカードが届くはずですが。

#### 4. 交通機関について

チューリヒ市内の交通機関を使用すべく、私はZONE110の年間パス(570CHF)とHalbtax(185CHF)とGleis7(129CHF)を購入しました。ZONE110の年間パス(Jahresabo)、いわゆる定期券、はチューリヒ市内の乗り物(Tram, S-Bahn, Pollybahn, バスなど)に乗ることができます。この定期は月ごとの購入も可能です。

Halbtaxは主に使う定期券の範囲外に行くために切符を買うときに非常に便利です。1回の購入で1年間の使用が可能で、切符が半額の値段で購入できます。定期券を月ごとに購入する人も、その定期購入に使用可能のはずですが。

Gleis7はHalbtaxを購入した25歳以下の人のみ購入できる券で、夜7時以降に出発するスイス国内の乗り物が次の日の朝5時まで、無料で乗れるようになるものです。Gleis7の使用可能圏内にドイツのWaldshutという町が入っており、スイスは物価が高いため翌日授業のない日の晩に、食料品などを買いに行きます。

これらの定期を購入する際には、パスポートとパスポートサイズの写真が必要でした。もし写真を忘れてしまっても、いたるところ

ろに写真撮影機(写真4枚で10CHF)があります。

購入当日には、写真付きの定期券が届くまで代わりに使用できるQRコード付きのチケットを渡してもらえます。

#### 5, 履修登録について

わたしの所属している日本語学科の履修登録期限は、授業が始まってから約2週間の余裕がありました。履修登録はインターネットで行われ、この期間中は登録してもしなくても授業を見に行くことができ、取り消しをすることもできます。

授業の詳細はすべてインターネットにて閲覧可能で、教室も授業時間も記載されています。

全体での昼休みというものがないため、自分で授業時間を調節して休み時間を作らなくてはなりません。

また建物内も広く、たくさんの建物があるので事前に調べて行っておいた方が得策かと思います。

## 月間報告書 3月分

学籍番号：                    留学先   ：スイス チューリヒ大学  
 氏名       ：                    留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日  
 年次       ：3年次                留学区分：派遣留学  
 クラス     ：G02

## I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Kanbun/Kundoku	ドイツ語で学ぶ漢文	315	授業
2	Basic German 4: A2	基礎ドイツ語 A2	360	授業
3	Japanische Lektüreübung 2	日本語及びドイツ語での講読練習	420	授業
4	Fachterminologie japanische Sozialwissenschaften 2: Politik und Gesellschaft	日本の社会科学	360	授業
5	Moderne japanische Gesellschaft	現代の日本社会	360	授業
6	Sprachtreffs Schweizerdeutsch	スイスドイツ語会話	90	授業

## II. 授業内容

## No. 1

一度だけ、先生の都合で休講がありました。

授業内容としては、今まで通り教科書に沿って進む形です。

高校生の頃の記憶を掘り起こして授業に臨んではいますが、やはり知らない表現方法だったり、難しい描写がでてきます。

書き下し文をドイツ語に訳するのが非常に難しいです。

## No. 2

教科書での学習を中心として、グループワークをしたり個人で問題を解いたりしてドイツ語の基礎を学びます。

毎週宿題に、動詞とその過去形、過去分詞形を覚えてくるように言われるのですが、一度それらの範囲をまとめた小テストがありました。

予想より難しく感じたので、今以上に勉強に励もうと思います。

## No. 3

授業は出された翻訳の宿題に沿って進められます。

毎週宿題に指定される範囲が広いので、必死になって終わらせています。

日本語で言うと言いで済むような言葉が、ドイツ語になるといくつもの単語を使って表現しないといけないということが多々あり、（また逆も然り）言語の違いの難しさを実感します。

## No. 4

毎週日本の社会について日本語で書かれた資料を、ドイツ語に翻訳して受講しなくてはなりません。

その翻訳を発表する人は先生によってランダムに決められます。

物語とは違い、難しい言葉で説明された文章が大半なので、翻訳するにも一苦労です。しかし知らなかったことも多く学べるので、非常に良い勉強になります。

## No. 5

今月は日本の総理大臣と、それぞれが行った政策などについて学びました。

その時代情勢とその頃の問題に対する対策などが知れて面白いです。

ただ、知らない単語ばかり出てくるので、辞書を手放すことが出来ません。

## No. 6

授業の前半に、スイスドイツ語の文法や基礎事項についておしえてもらい、後半には、ペアになって会話をします。

スイスドイツ語は標準ドイツ語とは全く違うので、今のところほとんど会話もできず標準ドイツ語を使用してしまいます。

少しずつ学んでゆけたらと思います。

### III. 生活編

#### 1. 携帯電話について

私はスイスでの最初の一か月は、日本で購入した周遊SIM（Three SIM：30日間分）を使用していました。

このSIMカードはAmazonなど、ネットでの購入が可能です。

それからその周遊SIMの使用期限が切れる前に、スイスの携帯会社（Sunrise）に行き、SIMカード契約を行いました。

学校にはWi-Fiが通っていますし、私の場合は部屋でもWi-Fiが使用できたので、月に20CHFで1.5GBのプランにしました。Wi-Fiの通っていないところで使用しすぎない限り、十分な役割を果たしてくれます。

何年契約という期間は決まっておらず、解約したい月の二か月前には携帯会社に連絡をしなくてはならないようです。忘れないように気をつけたいと思います。

#### 2. 寮でのWi-Fiについて

寮によって差異があると思うのですが、私の寮では共同ルームにしかWi-Fiが通っておらず、個人の部屋にはインターネット接続だけがされている状態です。

それゆえに日本で買った、インターネットのコードにつなぐだけで使用できる小型のWi-Fiルーターを持ってきました。Wi-Fiルーターはスイスでも購入できます。

寮の自室にWi-Fiが通っていない人は、自分のネットを使う頻度を考えて、Wi-Fiルーターを購入するかどうか決めたらいいと思います。先学期に住んでいた方のものを譲っていただける場合もあります。

#### 3. タンデムパートナー

私は一週間のうち全休の曜日が多いため、タンデムパートナーを作りました。

学校で仲良くなった人とタンデムを始める場合もありますし、私の場合はSprachenzentrumのサイトからTandem-Angebotに申請して、日本語を勉強したいというスイス人の学生さんを紹介してもらいました。

週に一度会って、言語学習はもちろん、スイスの文化を教えてもらったり、日本のことを話したり、本当に楽しい時間を過ごしています。

また、私が何か質問をしたりすると、一生懸命に私の疑問に答えて説明してくれるため、私もタンデムのためにできることを全てしようと心から思うことができます。

#### 4. 銀行について

私は一年間の留学の予定のため、長期滞在するなら便利であろうと思い、UBSという銀行で口座を開きました。学生なら無料で開設することが出来ます。

スイスの銀行では、利用者とはビジネスパートナーの関係であるという感覚らしく、契約の際には会議室のようなきれいな個室に案内されました。学生証とパスポート、滞在許可証を持って行きました。

ネットバンキングも使用でき、クレジットカードもV PAYという便利なカードも無料で作ることが出来ます。

しかしそれらは郵便物で届くため、全部そろって使用できるようになるまで、一か月かかってしまいました。

作った口座にお金を振り込む際、海外送金をするとうごくお金がかかってしまうので、私は日本で作ったデビットカードを使って現金を引き出し、開設した口座に入れています。

多少の手数料（現在108円）はかかってしまいますが、海外送金するよりは安いかなと思ってやっています。

ネットバンキングのおかげで、毎月振込用紙をもらいに行って、郵便局に振り込みに行くという手順をふむことなく、寮費が支払えます。

## 5. スイスドイツ語のあいさつ

タンデムパートナーにスイスドイツ語でのあいさつについて教えてもらいました。

基本のあいさつはGrüeziで、スーパーや郵便局など、どこでも使われています。ありがとうと言うときは、フランス語からきたMerciを使うそうです。Dankeも普通に使います。

もっとありがとう、と言いたい場合は Danke/Merci vell mol= Danke viel mal

と言うそうです。初めて聞いた表現だったので、初めはびっくりしました。

さようならを言うときには、Tschau (ciao)やAde (アデー)と言います。Adeの方がフォーマルな形らしく、スーパーの店員さんなどが言ってくれました。

一部を抜粋して書いていますが、他にももっとたくさんの言い方があります。標準ドイツ語で言っても普通に分ってくれます。

## 月間報告書 4月分

学籍番号：                    留学先   ：スイス チューリヒ大学  
 氏名       ：                    留学期間：2019年04月01日 ~ 2020年03月31日  
 年次       ：3年次                留学区分：派遣留学  
 クラス     ：G02

## I. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	Kanbun/Kundoku	ドイツ語で学ぶ漢文	315	授業
2	Basic German 4: A2	基礎ドイツ語 A2	360	授業
3	Japanische Lektüreübung 2	日本語及びドイツ語での講読練習	315	授業
4	Fachterminologie japanische Sozialwissenschaften 2: Politik und Gesellschaft	日本の社会科学	270	授業
5	Moderne japanische Gesellschaft	現代の日本社会	270	授業
6	Sprachtreffs Schweizerdeutsch	スイスドイツ語会話	135	授業

## II. 授業内容

## No.1

休講が一度ありました。加えてイースター休暇もありましたので、四月の授業日数は少なかったです。

授業の難易度がだんだん上がってきたように思います。

出された宿題では漢文を書き下し文にし、それからドイツ語に翻訳しなくてはならないのですが、漢文独特の表現をドイツ語に訳すのは非常に難しいです。

## No.2

来月の口頭テストに向けて、ペアワークが多くなってきました。

指定された動詞や前置詞などでの作文練習などを行います。

一度宿題で、自分にとっての一番の旅行についての作文を出されました。添削してもらった際に、自分の使っていた表現方法よりもっと良いものがあると教えてもらえ、知識が一つ増えたと嬉しい気持ちです。

## No.3

宿題の量に相変わらず苦労しています。

しかし宿題の量以上に学べるものが多いと授業の度に思います。

日本語の文章をドイツ語に訳すにあたって今までより、少しずつ使う単語の微妙なニュアンスや正しい文法などを考慮して選択できるようになってきた気がします。



## No. 4

授業の初めに先生が、前回の授業について質問ができる時間を設けてくれます。それから普段通りの授業が行われます。毎週取り扱うテーマが変わり、名前は知っているけど詳しくは知らないというような日本の社会問題を多く学びました。日本語の政治用語をドイツ語に訳すところなるのか、という発見がたくさんあり非常に面白いです。

## No. 5

先生のパワーポイントと説明を軸に授業が進みます。

今月は日本の伝統や文化について多く学びました。今までの授業に比べて、パワーポイントに文章より画像の方が多いため、分かりやすいです。

## No. 6

郵便局や銀行など、様々な場面でのスイスドイツ語について学びました。

単語や読み方からして標準ドイツ語とは全く違うので、毎回困惑しています。スイスドイツ語を話す人にしかできない発音の仕方などもあるらしく、難しいながらも新鮮味があり、面白いです。

## III. 生活編

## 1. 天候などについて

四月には四季が集まるという様に言われているようで、真夏のように暑くなったかと思えば、冬のようにひどく寒い日がありました。もう暖かいから大丈夫だろうと思いき、上着を持たずに出かけたら恐ろしく風の強い日で、凍えに凍え、後悔した日もあります。服の調節が非常に難しい月でした。

加えて、夜が短くなりました。午後八時になっても、まだまだ明るいです。

なので時計も見ずに部屋にこもって作業していると、いつの間にか夜になっておりびっくりしたことが何度かありました。

日本では絶対に体験できないことなので、とても面白く感じます。

## 2. 保険について

スイスに三か月以上滞在する人は、スイスの国民保険に加入しなくてはなりません。

それゆえスイスの保険機関から、保険加入の催促の手紙が届きました。スイスの保険料は非常に高く、一番安いものでもひと月に65CHFはかかります。

物価の高いスイスで生活するにあたってこれは生活費に大打撃を与えるため、私は免除申請をしました。

現在申請に必要な書類を添付した、お願いのメールを送っていますが、「忙しいのでしばらくお待ちください」といった内容の自動メールの返信のみでどうしたものかと待機中です。

なにか動きがありましたら、今後の月間報告書に記入したいと思います。

申請のために用意した書類：1, パスポートのコピー 2, 滞在許可証のコピー（裏表） 3, form A in english

4, application form in english 5, 付保証明書（ドイツ語）

3と4の書類のデータは、チューリヒ州の保険機関のサイト（Kanton Zürich Gesundheitsdirektion）のBevölkerungのページから入手でき、それらを学校のコピー機で印刷して記入したのち、再びコピー機でスキャンしデータ化しました。これらの作業を行うにあたって、USBメモリを非常に重宝しました。

3の書類は日本で加入した保険会社さんに記入してもらわないといけない部分があり、それはメールで依頼しました。

5の付保証明書は、日本での保険加入の際に依頼するかどうかの欄があります。無料で作成してくださるので依頼しておいた方がいいです。依頼し忘れていた私はスイスに来てから本当に焦りました。（のちにメールで依頼し、作成していただきました。）

## 3. イースター休暇について

4/18の午後から、約10日間のイースター休暇が始まりました。

2019年のスイスの祝祭日としては、4/19が聖金曜日、4/22が復活祭であるそうです。

私はドイツに留学中の友達とウィーン旅行に行きました。FLIXBUS（アプリがとても便利でした）を使って、現地で待ち合わせです。

チューリヒからウィーンまでは、一回の乗り換え時間も合わせて12時間ほどかかりました。

ぴったりイースターにかぶっている日だったので他の観光客もたくさんいましたが、危ないことも特になくウィーンは本当に良いところでした。ご飯もスイーツも美味しいし、何よりドイツ語圏であるのが安心できました。

シェーンブルン宮殿は本当におすすめです。

#### 4. バスでの旅行について

チューリヒとウィーンの往路と復路では、バスの中で警察によるパスポートチェックがありました。

バスが止まったかと思えば、何人かの警察官が乗り込んできて、乗客全員のパスポートを確認します。順番が回ってくればパスポートを見せて、どこからどこへ行くかなどの簡単な質問に答えたらいいだけなのですが、どうにも少し怖くてどきどきしてしまいます。

パスポートだけでなく、スイスの滞在許可証も見せたらぱっと終わらせてくれました。

## 月間報告書 5月分

学籍番号：                    留学先   ：スイス チューリヒ大学  
 氏名       ：                    留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日  
 年次       ：3年次                留学区分：派遣留学  
 クラス     ：G02

## I. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	Kanbun/Kundoku	ドイツ語で学ぶ漢文	360	授業
2	Basic German 4: A2	基礎ドイツ語 A2	360	授業
3	Japanische Lektüreübung 2	日本語及びドイツ語での講読練習	420	授業
4	Fachterminologie japanische Sozialwissenschaften 2: Politik und Gesellschaft	日本の社会科学	360	授業
5	Moderne japanische Gesellschaft	現代の日本社会	360	授業
6	Sprachtreffs Schweizerdeutsch	スイスドイツ語会話	135	授業

## II. 授業内容

## No. 1

月末の授業最終日に試験がありました。  
 先生が、試験の目的は単位を与えるためのものではなく、漢文をこれからの知識の一つにしてもらうこと、といった旨のことを言ってくださり、試験の際には何でも持ち込み可能ということになりました。  
 忘れかけていた漢文をドイツ語で学べて、非常に楽しい授業でした。

## No. 2

授業最終日の前の週に、口頭試験と筆記試験がありました。  
 口頭試験は生徒二人に対し、先生一人の二対一で行われました。質問カードを用いて、約十分間ほどの会話をします。  
 口頭試験の後には、先生が生徒一人一人にアドバイスを言いに来てくださいました。  
 筆記試験は今まで習ってきた文法や単語が主な出題でした。  
 授業最終日には、筆記試験の解答発表、成績書の配布がありました。

## No. 3

授業最終日に試験がありました。  
 試験では、今までに授業でやった小説のいくつかの文を日本語からドイツ語に訳さなくてはなりませんでした。  
 辞書持ち込みの許可をいただいていたのですが、当日になってやっぱり使わずに試験を受けようと思い、使用しませんでした。  
 分らない単語も多々出てきましたので語彙力不足を再確認できました。

## No. 4

授業最終日が試験でした。

授業で習ってきた、日本の政治に関する単語の意味やドイツ語での名称などを答えなくてはならず、問題量も多いので非常に苦戦しました。

日本語での回答の許可をいただきました。

## No. 5

授業最終日が試験でした。

日本の社会や政治について問われた質問に対し、文章で回答しなくてはなりませんでした。

日本語での回答の許可をいただいたのですが、問題はもちろんドイツ語で書かれているので、問われていることをきちんと理解できているのか本当に不安でした。知らないこともたくさん学べたので非常に勉強になった授業です。

## No. 6

スイスドイツ語の曲などを教えてもらいました。

スイスドイツ語は地方によっても様々な種類があるらしく、本当に奥が深い言語だなとしみじみ思いました。

## III. 生活編

## 1. 保険について

スイスでの保険加入義務の免除申請に関して動きがあったので、記しておきます。

メールでの申請を行いしばらくたったのちに、スイスの別の保険機関からまた加入催促の手紙が届きました。

なので次はその機関に対して必要書類をコピーしたものと、今までの経緯と義務を免除してほしいといった旨を記した手紙を同封し、郵送しました。

すると思ったよりも早い返信がもらえ、私の日本で加入した保険では求められる保険の条件をカバーできていない部分があるため、他の機関にまわすと書かれていました。またしばらくの待機です。

## 2. 観光について

Luzernに住んでいるタンデムパートナーが、Luzern観光に連れて行ってくれました！

天気のとてとても良い日で、絶好の観光日和でした。

まず川に沿って歩き、Luzernで有名な歴史ある橋を渡りました。この川は水が本当にきれいなのですが、流れが本当に激しくて毎年事故が起こってしまうと聞きました。

その後歴史のある建物やお店の並ぶ通りをまわって、ケーキが美味しいと有名なカフェ (HEINI LUZERN) に行きました。ケーキの種類がたくさんあってどれにしようか本当に悩みました。

おやつの後には、船で湖を一周したり、古い塔に上ったりと本当に充実した一日でした。次の日の筋肉痛は尋常ではなかったのですが、一生忘れないであろう思い出ができました。

もっと温かくなったらハイキングにも連れて行くよと言ってくれて、本当に楽しみです。

## 3. スイスの祝日について

5/30の木曜日はスイスの祝日「キリスト昇天祭」でした。翌日の金曜日は普通の平日で一般の人は仕事もあるらしいのですが、土日と合わせて連休にしたい人は、仕事を計画的に早めに終わらせて、金曜日でも休日にするそうです。これを *Brücke machen* と言うらしいです。

私はもともと休みであったので、祝日は関係なくこの期間にミラノ旅行に行ったのですが、おそらく *Brücke machen* したであろう人々の多さに、行きも帰りもバスが高速道路で渋滞にはまってしまいました。

ミラノでも、往復のバスの中でも、ドイツ語を話している人がたくさんいました。



## 月間報告書 6月分

学籍番号： 留学先：スイス チューリヒ大学  
 氏名： 留学期間：2019年04月01日～2020年03月31日  
 年次：3年次 留学区分：派遣留学  
 クラス：G02

### I. 受講時間数

6月の教育編は入力がありません

### II. 授業内容

6月の教育編は入力がありません

### III. 生活編

長い長い夏休みが開始しました。

#### 1. 気候について

スイスもついに夏本番の暑さです。スイスの夏は涼しくて過ごしやすいと聞いて楽しみにしていたのですが、めちゃくちゃ暑いです。日本並みの蒸し暑さです。

スイスも周りのヨーロッパ国同様、エアコンの普及率が低く、室内の暑さはただただ耐えるしかなさそうです。

そのためか川や湖のそばを通ると泳いでる人がたくさんいます。

ただ6月でここまで暑くなるというのは、ここ数年になってからのことらしく、気候変動が原因かと思われます。暑いのは苦手なので非常に困っております。

#### 2. Grillieren

Grillpartyにお招きいただき、スイスの人々のパーティーを味わってきました。

初めて見るような料理や、飲み物、カードゲームなどがあって、スイスの文化に少し触れる事ができて本当に楽しかったです。

特に印象に残っているのがSchlangebrotという料理で、木の棒に薄くて細長いピザの生地を巻き付けてバターを塗り、そして焼いたものを食べるというものです。薄いナンみたいで美味しかったです。

夜になっても明るい季節なので、時計を見て夜になっていることに気づき、びっくりしました。

#### 3. ハイキングについて

Luzernにて、タンデムパートナーにハイキングに連れて行ってもらいました。

二時間ほどスイスの山の中を登りました。天気も良く、自然が本当に美しく、とても豊かな気持ちになりました。乳牛もそこら中にいます。

登山をしたのは小学校以来なので、すぐに息切れしてしまい体の衰えを感じました。

頂上ではスイスの美味しいチーズとパンとサラミで昼食です。スイスの自然や文化に浸ることの出来た、非常に貴重な、幸せな一日でした。

# 月間報告書 7月分

学籍番号： 留学先 : スイス チューリヒ大学  
氏名 : 留学期間 : 2019年04月01日 ~ 2020年03月31日  
年次 : 3年次 留学区分 : 派遣留学  
クラス : G02

## I. 受講時間数

7月の教育編は入力がありません

## II. 授業内容

7月の教育編は入力がありません

## III. 生活編

### 1. Züri Fäschtについて

今月は月の初めの週に、数日間 Züri Fäschtというお祭りがチューリヒで開催されました。このお祭りは三年に一度しか行われならしく、三日連続花火が打ち上げられたり、遊園地ができたり、ヘリコプターが飛んだり、ものすごく盛大なものでした。サイトをみると次のお祭りまでのカウントダウンがされており、お祭りに対する本気度がわかります。それらの中でも一番印象に残っているのは、曲に合わせて打ち上げられる花火です。周りの人ものりになりになって歌い始め、指笛が飛び交っていました。日本のお祭りとはまた違った良さがあ、楽しかったです。

### 2. スイスの国技について

スイスの国技だと言われている Schwingen のお祭りがRigiという山で行われていたので、観に行ってきました。Schwingenは相撲によく似たスポーツで、木くずで作られた土俵の上で男性が戦います。競技用の特別なズボンを履いて、互いにつかみ、振り回して、相手の肩甲骨か背中を地面につけたら勝ちというルールです。土俵がおがくずで出来ているので、目に入ったりしたら痛いだろうと見ていてハラハラしました。優勝者には賞品として、牛が与えられます。Schwingenの大会で優勝することは、とても名誉あることらしいです。

Schwingenの他にもスイスの国技と呼ばれているものに、小銃射撃と Steinstossen があります。今回のお祭りでは、Steinstossenも行われていました。これは石投げの競技で、持ち上げるだけでも重たい石を投げて、その距離を競います。

Schwingenほど大規模に行われてはいなかったのですが、非常に面白かったです。

本当にスイスの人々に人気のスポーツのようで、会場では選手でも、観客でも、エーデルワイスのプリントされたスイスならではのシャツを着ている人々が大勢いて、強い愛国心が感じられました。

### 3. 水浴びについて

タンデムパートナーに、Luzernにて川に水浴びに連れて行ってもらいました。浮き輪につかまって川を下りました。少し水の冷たい日だったのですが、スイスの人々は夏に湖や川で泳ぐのが大好きなようで、子供から大人まで大勢の人がいました。

私は泳ぐのがあまり得意ではないのでずっと浮き輪につかまっていたのですが、タンデムやそのお友達の水の深いところでもスイスイ泳いでいたので、流石などと、見ていて気持ちがよかったです。

スイスの夏を楽しむことができ、本当に良かったです。

# 月間報告書 8月分

学籍番号： 留学先：スイス チューリヒ大学  
氏名： 留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日  
年次：3年次 留学区分：派遣留学  
クラス：G02

## I. 受講時間数

8月の教育編は入力がありません

## II. 授業内容

8月の教育編は入力がありません

## III. 生活編

長い長い夏休みも終わりが近付いてきました。あっという間でした。振り返ってみて、様々な体験のできた満足のいく夏休みだったなと心から思います。

### 1. ZermattでのWanderungについて

マッターホルンで有名なZermattに、Wanderungをしに行ってきました。マッターホルン周辺の5つの湖を巡るコースで行ったので、進むにつれて様々な視点でマッターホルンを眺めることができました。

天気も良く、暖かい日だったので湖では水浴びをしました。とても綺麗な水で少し冷たすぎるぐらいだったのですが、歩き続けて温まった体には丁度良かったです。

なんと流れる水がそのまま飲める川があり、試したところ本当においしくてびっくりしました。お腹を壊すこともなかったです。Wanderungのコースとしてはだいたい3時間ほどかかるものだったのですが、昼休憩、水浴び等加えると、全体で5時間ほどになったと思います。

歩いていても、ご飯を食べていても、水浴びをしても、目に入る風景全てが本当に美しかったです。夏のスイスではWanderungをすることを心からお勧めします。

### 2. 朝の散歩の習慣について

私の寮のそばには川が流れており、朝のまだ日中に比べて涼しい時間帯にそこまで行って本を読むのが習慣になっています。川に沿ってのランニングコースがあり、場所によっては川辺まで行くことができます。

運動不足防止の散歩がてら川辺に行っては一人本を読むのですが、自然に囲まれていて静かで、本当に癒される時間です。たまに通るかかった人に、Grüeziとあいさつしてもらえるのがうれしいです。



# 月間報告書 9月分

学籍番号： 留学先 : スイス チューリヒ大学  
 氏名 : 留学期間 : 2019年04月01日 ~ 2020年03月31日  
 年次 : 3年次 留学区分 : 派遣留学  
 クラス : G02

## I. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	Japanische Literatur	日本文学 概説	210	授業
2	Japanische literarische Lektüre	日本文学 日本語及びドイツ語での講読	210	授業
3	Jaoanische Lektür 1	日本語及びドイツ語での講読	210	授業
4	Lesen und Schreiben B1	ドイツ語作文読解 B1	180	授業
5	Japanische Politik und Wirtschaft nach 1945	1945年以降の日本の政治及び社会	90	授業

## II. 授業内容

### No.1

日本文学の歴史について、ドイツ語で学びます。

学期中に授業内で三回ほど小テストが行われるそうです。そのテストに備えて生徒はドイツ語や英語で書かれた膨大な量の資料を読まなければなりません。

古事記まで遡って学ぶので、すでに知っている用語をドイツ語で何というのか知ることができて面白いです。

### No.2

日本文学である、坂口安吾の「桜の森の満開の下」を翻訳します。

宿題で訳した範囲を授業で順番に発表していく形式です。進む速さも非常に速く、宿題の量も多いので、毎週苦しんでいます。

この作品の文体が古いものなので、どういう風に訳していいものか本当に難しいです。

### No.3

池澤夏樹の「マリコ/マリキータ」を翻訳します。

宿題に出された範囲を、授業で順番に発表していきます。

日本語学科の生徒さんたちは本当に勉強熱心で、先生が他の訳し方はないかと尋ねると必ずと言っていいほど誰かが手を挙げて発言します。

また先生も生徒の質問には一人一人きちんと対応してくださるので、授業が進む速さはゆっくりです。

### No.4

Sprachzentrumによって開講されている授業です。

教科書に沿って進められます。文法の応用を教わったり、新聞記事を読んだり、作文したりします。たまにディスカッションもします。

語彙力が鍛えられて、とてもいいです。

今学期からB1に変更したのですが、A2の頃に比べると周りの学生もドイツ語をさらさらと話す人が多いです。

#### No. 5

1945年以降の戦後の日本についてドイツ語で学びます。

パワーポイントを見ながら先生の解説を聞きます。ドイツ語に翻訳された日本の政治用語が本当に難しいです。

かつて習ったことのある事象が大半なので、思い出すことができて楽しいです。

### III. 生活編

9月中盤から秋学期が開始しました。夏休みの感覚から抜け出すのはなかなか骨がおれるところですが、秋学期の生活にもそろそろ慣れてきたと思います。

パソコンを利用して授業を受けるのが一番やりやすいのですが、不幸なことに留学直前に購入したパソコンが壊れてしまい、パソコンを使いつつの学習ができません。手書きやら携帯やらで乗り切っています。

#### 1, 季節の変化について

近頃気温がぐっと下がり、コートなしでは外に出られなくなりました。また、Hesse Marroni (焼き栗) の屋台もあちこちで見かけるようになりました。野生のリスも頻繁に見かけます！

朝に寮から外に出ると、ひんやりとした冬独特のさびしい匂いがして、とても好きです。これもあと数か月かと考えたら、感慨深くなります。

#### 2, スイスのイタリア語圏への旅行について

9月前半の夏休み中にタンデムパートナーと、Ticinoの Bellinzona, Lucarno, Ascona, Lugano を四日間で周りました。スイス内を旅行する際は、Greis7が本当に役に立ちます。(街から街へと移動するときに、Greis7を使って、夜7時以降出発の電車に乗れば出費がおさえられます。)

イタリア語圏なので、ジェラートやピザ、パスタなどのイタリア料理が楽しめました。

同じスイスでも、イタリア語圏の人々はフレンドリーで、陽気な人が多かったように思います。あと、おしゃれな人が多いというイメージがあるそうです。

町並みはドイツ語圏とはまた違った美しさがあって、地中海沿岸のような雰囲気がありました。湖で水浴びをしたり、ハイキングに教会、古城を巡ったりと、内容たっぷりの旅行でした。

タンデムパートナーと、今日はドイツ語で話す日、とか明日は日本語で話す日など決めて、観光していたので色々な単語や文化も覚えることができました。一緒に行ってくれたタンデムパートナーには本当に感謝です。

#### 3, 新学期開始について

秋学期開始が近づくにつれて、夏休み中には何の音沙汰もなかったメール受信箱にチューリヒ大学など様々なところからメールが続々届くようになりました。そのメールの中に、春学期開始の頃に参加した留学生専用の説明会等の案内があったのですが、一度出席しているので今学期も出席する必要はないようでした。

学生証の更新を行わなければなりません、これはチューリヒ大学の建物内にある機械に差し込むだけで終了します。

スイスの大学は秋学期開始が基本であるそうなので、生徒の数も春学期に比べると非常に多くなっています。心なしか学生寮内の人口密度も高くなった気がしてしまいます。

留学中最後の学期なので、やりたいこと、今だからできることを精一杯やりたいと思います。

## 月間報告書 10月分

学籍番号：                      留学先   ：スイス   チューリヒ大学  
 氏名       ：                      留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日  
 年次       ：3年次                留学区分：派遣留学  
 クラス     ：G02

## I. 受講時間数

No.	履修科目 (原語名)	履修科目 (日本語名)	受講時間数 (分)	授業形態
1	Japanische Literatur	日本文学 概説	315	授業
2	Japanische literarische Lektüre	日本文学 日本語及びドイツ語での講読	525	授業
3	Jaoanische Lektür 1	日本語及びドイツ語での講読	525	授業
4	Lesen und Schreiben B1	ドイツ語作文読解 B1	450	授業
5	Japanische Politik und Wirtschaft nach 1945	1945年以降の日本の政治及び社会	225	授業

## II. 授業内容

## No.1

先生の都合で二週連続休講がありました。

授業内で扱う資料の中で、日本の古典作品がドイツ語に訳されたものなどを見ることができます。本当に綺麗に翻訳されているので、感嘆ものです。

## No.2

翻訳の宿題を出された範囲内を、順番に発表していきます。

古い言葉の言い回しやオノマトペが非常に多いので、宿題が毎回大変です。

授業が進むのは速いですが、日本語学科の生徒さんが先生に質問したり、意見交換したりする時間の余裕もあるので良い塩梅です。

## No.3

宿題で出された範囲内の翻訳を、順番に発表していきます。大教室で行うのでマイクを使って発表しなくてはならず、毎回少し緊張します。

長文や翻訳に少し工夫の必要な文などが出てくると、先生が解説等を丁寧にしてくださるのでありがたいです。

## No.4

教科書に沿って授業が進められます。

宿題には毎回、前置詞セットの動詞の暗記が出されます。読み、書き、文法を基本に学びますが、ディスカッションやペアワークをすることもあります。

個人作業になると先生が全員を見回りながら、アドバイスしつつ励ましてくれます。

## No.5

パワーポイントに沿って先生が解説を加えてくれます。

すっかり忘れていた歴史事項などを思い出すことができます。日本の歴史をヨーロッパからの視点で見ることができ、新鮮で面白いです。

## III. 生活編

帰国までの残り日数が二か月をきりました。

帰国に必要な手続きを始めつつ、今しかできないことをやっておこうと思います。

## 1. 気候について

ついに冬本番の寒さです。ヒートテックに加えて、マフラーに手袋も必要になってきました。カイロをたくさん持ってきていたので消費していききたいところなのですが、建物の中に入れば暖かいし、外にいてもヒートテックを着ていれば十分と言えば十分なので、なかなか減らずに困っております。

どうやら気候変動の影響で、今までに比べたら雪もまだ降っておらず、さほど寒くはならないようです。

雨の日と晴れの日で気温の差は非常に大きいです。

## 2. スイスの健康保険について

10月初めに、保険の免除申請をしていた機関から返信の手紙が届きました。

免除申請は許可されませんでした。しかし、この日までに保険に加入するようにと指定された日付がすでに帰国日を過ぎていたので、タンデムパートナーに相談したところ、代わりに電話をかけて聞いてくれることになりました。本当に感謝でいっぱいです。

スイスの保険制度は本当に複雑らしく、スイス国民でも電話して質問するのだそうです。タンデムパートナーに聞いてもらったところ、加入期限日が帰国日から後なのであれば、もう何もしなくていいとのことで、保険加入はしなくてもいいことになりました。

## 3. 秋の味覚について

スーパーに栗や様々な種類のカボチャが並ぶようになり、秋を感じました。スイスは季節によって置いてあるものががらりと変わるので、分かりやすいし面白いです。鹿の肉なんかもあります。

ハロウィーンが終わって、クリスマスのお菓子なども並ぶようになりました。クリスマスまでまだまだなのに、クリスマスの雰囲気が始まるのは日本と同じくらい早いみたいです。

## 月間報告書 11月分

学籍番号：                      留学先   ：スイス   チューリヒ大学  
 氏名       ：                      留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日  
 年次       ：3年次                      留学区分：派遣留学  
 クラス     ：G02

### I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Japanische Literatur	日本文学 概説	315	授業
2	Japanische literarische Lektüre	日本文学 日本語及びドイツ語での講読	420	授業
3	Japanische Lektür 1	日本語及びドイツ語での講読	420	授業
4	Lesen und Schreiben B1	ドイツ語作文読解 B1	360	授業
5	Japanische Politik und Wirtschaft nach 1945	1945年以降の日本の政治及び社会	240	授業

### II. 授業内容

#### No.1

休講が一度、試験も一度ありました。

今まで日本文学の歴史を、一番古いものから学んできたのですがついに近代文学の範囲までやってきました。題名は知っているけれど内容までは分からない作品が多数でてきたので、母国の文化を学ぶことも大切だなと実感しました。

12月にもう一度試験があります。

#### No.2

授業で取り扱っていた坂口安吾の「桜の森の満開の下」の翻訳が終了したので、次の題材である「南京虫殺人事件」に突入しました。

以前の作品より時代背景は近代に近づいてきたのですが、それでも訳しにくい単語がたくさんあります。授業形態としては、それぞれ割り当てられたページを訳したものを、みんなで見ていき、一番合う訳し方を話し合うといったものえす。

#### No.3

先生に指定をされた範囲を毎週訳してきます。

授業日前に友達で訳したものを見直す集まりがあるので、そこで自分の訳したものの文法や単語がおかしいと訂正してもらえます。その後に授業があるので、復習ができ、また様々な訳し方や表現を学べるので本当に勉強になります。宿題の範囲は広いですがとても面白いです。

#### No.4

自分の意見を述べる時によく使われる単語や熟語などを学びました。

長文を読んだり、実際に作文もしました。先生がユーモアのある人で面白く、生徒それぞれに励ましの言葉をくれるのでやる気があります。

12月からはついに試験が始まります。

#### No. 5

一度外部からいらっしゃった人が日本の教育制度について講義をしてくださいました。スイスに来てから色々な人から聞くことが多かったのですが、日本の学習塾というのはヨーロッパからすると珍しいものの様です。違う観点から日本のことを見るととても面白いです。

来月の最終日にはついに試験が行われます。

### III. 生活編

ついに残り一か月をきってしまいました。こちらに来てから、色々な所へ行ったり、色々な体験をしたり、色々なものを食べたりと、貴重な体験をたくさんすることができました。

それでもやりたいことはまだたくさんあるし、もっとここに居たいと思っています。

#### 1. 気候について

冬本番の寒さで、毎日凍えています。チューリヒではまだですが、スイス内でついに雪が降っている場に遭遇することができました。景色が美しいので白雪がよく映えます。

肌の乾燥がひどくなってくるので、ハンドクリームとリップクリームは必需品になります。

#### 2. 冬のスイスについて

クリスマスも近づいており、アドベントカレンダーや、Weihnachtsguetzliというスイスのクリスマスでは定番のクッキーをそこらじゅうで見かけることができます。クリスマスイルミネーションもいたるところにあり、クリスマスに対する熱意がすごいと感じます。

(クリスマスマーケットで飲むGlühweinは絶品なので本当におすすめです)

スイスで冬に食べる美味しいものといえば、やっぱりFondueとRacletteです。どちらもお友達のところへお邪魔して、ご馳走していただいたのですが、スイスで食べるスイス本場流のものは言葉にできないくらいのおいしさでした。一生忘れないと思います。

## 月間報告書 12月分

学籍番号：                    留学先   ：スイス   チューリヒ大学  
 氏名       ：                    留学期間：2019年04月01日 ～ 2020年03月31日  
 年次       ：3年次                留学区分：派遣留学  
 クラス     ：G02

### I. 受講時間数

No.	履修科目（原語名）	履修科目（日本語名）	受講時間数（分）	授業形態
1	Japanische Literatur	日本文学 概説	315	授業
2	Japanische literalische Lektüre	日本文学 日本語及びドイツ語での講読	315	授業
3	Jaoanische Lektür 1	日本語及びドイツ語での講読	315	授業
4	Lesen und Schreiben B1	ドイツ語作文読解 B1	270	授業
5	Japanische Politik und Wirtschaft nach 1945	1945年以降の日本の政治及び社会	135	授業

### II. 授業内容

- No.1  
 授業内での小テストが、なぜか中止となりました。  
 最終日には日本の近代文学作品のジャンルや有名作家について学びました。先生がパワーポイントを使って説明してくださいました。
- No.2  
 この授業では試験がありませんでした。  
 その代わりに、小説の中で振り分けられた部分を訳して、先生に送らなければなりません。これは授業内で一度発表し、訂正してもらったものを修正して送るだけだったので、それほど苦にはなりませんでした。
- No.3  
 授業最終日が試験でした。試験では、日本語をドイツ語に訳さなくてはなりませんでしたが、辞書の持ち込み許可がもらえました。  
 。  
 どの単語が一番適しているのか考えて選択するのは難しかったのですが、本当に良い勉強になったと思います。
- No.4  
 最終日以前の週に試験がありました。自分の意見文を書くものと、長文をよんでそれについての問題を解くものがありました。両方とも辞書の使用は可能だったのですが、それでも難しい単語が多かったので、少し苦労しました。  
 最終日には成績表が配られました。思ったよりそれほど悪い評価ではなかったので安心しました。最後になっても先生は励ましの言葉をくださってうれしかったです。

## No.5

最終日が試験でした。試験範囲が広いうえに、日本語の政治用語の概念をドイツ語と一致させるのに大変苦労しました。辞書持ち込みの許可をもらいましたが、それでも難しかったです。

## III. 生活編

ついに長いようで短かった留学生活も終了しました。辛いことも霞むくらい、楽しいことであふれた留学でした。出会えた人にも、経験にも恵まれて、本当に幸せです。

## 1. 気候について

12月は雨も多く、風が冷たくて、外に長時間いるのはなかなか堪えました。それでもクリスマス前のお祭りムードには、どうにも魅了されてしまい街中をうろろして、風邪をひきかけました。外は寒いですが建物の中に入ると一貫して暖かいので、私にとってはスイスは夏よりも冬の方が過ごしやすかったです。

## 2. 荷物の送り方について

スイスに来てから、あれやこれやと荷物が増えてしまったので、スーツケースに詰めるものとは別に荷物を日本に送ることにしました。一番低価格のECONOMYでも、10kg未満で89CHFしました。

郵便局に送りたい荷物を持って行き、お金を払うのですが、その際 Frachtbrief (送り状) を作成し、印刷して一緒に持って行かなくてはなりません。Die Post のサイトから Pakete Ausland を選択し、

送る国、グレードを選んだ後に Frachtbrief erstellen をクリックすると必要事項を打ち込むページが出てきますのでそれを埋めていけば作成できます。日本から海外に荷物を送ると同じく、内容物を書き出さなくてはいいませんが、日本からほど詳細に書かなくてもよさそうです。印刷するページは五枚ほどで、それらすべてにサインをし、持って行かなくてはなりません。それさえ済めばあとは待つのみです。

私の送った荷物は8~10日で届くはずだったのですが、クリスマスの忙しい時期であったからか、20日ほどかかってしまいました。届かなかったらどうしようかと不安だったので、届いてよかったです。

## 3. 帰国前にすることについて

帰国前に住民登録をした Kreisbüro に行って、帰国の届け出をしなくてはなりません。これは帰国日の二週間前からでき、パスポート、滞在許可証、登録確定書(登録時にもらうハンコの押された紙)、20CHFが必要です。かつこいい滞在許可証のカードは返してもらえます。Zürich Wegzug で検索するともっと分かりやすいと思います。加えて、スイスでの保険を解約する人はここで Abmeldebestätigung をもらいそれをスキャンしたものを解約の旨とともに保険会社のオンラインフォームに送る必要があるそうです。

## UBS銀行を契約している場合

口座を閉めずに帰国するのは難しそうです。日本にもUBSはありますが、UBSの提示する最低額が口座にない限り、日本でUBSを使用することは不可能だそうです。

口座内のお金を現金でほしい場合は、窓口まで行くと、閉めるのと同時に10分ほどでやってくれます。

口座を閉める数日前にクレジットカードを使用していたら、閉めることができないそうなので5日前までにすべての支払いを済ませておいた方が良いでしょう。

寮の引き渡しについては、それぞれの寮で違うので直接WOKOに尋ねた方がいいです。depositを返してもらうために、自分の振り込んで欲しい銀行の情報を用意しておく必要があります。

## 4. 帰国時の飛行機について

私は25日に13時発の便でチューリヒを出発しました。パスポートチェックの際、滞在許可証の提示を求められたので、まだ手荷物に入れておいた方がいいと思います。チューリヒ→東京(成田→羽田)→大阪(伊丹)というルートだったのですが、東京の成田に着いた後、預けていたスーツケースを一度受け取ってバスで羽田まで移動せねばならず、時間もあまりなかったため大忙しでした。その他はこれといって困ったこともなく、無事に自宅まで帰ることができました。